

令和2年度実施施策に係る 測定指標の判定結果の概要 (農政分野)

令和4年1月24日

目次

・ 本資料の読み方	1
・ 1. 新たな価値の創出による需要の開拓	2
・ 2. グローバルマーケットの戦略的な開拓	6
・ 3. 消費者と食・農のつながりの深化	8
・ 4. 食品の安全確保と消費者の信頼の確保	11
・ 6. 担い手の育成・確保等と農業経営の安定化	14
・ 7. 農地集積・集約化と農地の確保	17
・ 8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産 基盤整備	18
・ 9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と 流通・加工構造の合理化	23
・ 12. 環境政策の推進	30
・ 13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保	33
・ 14. 農村に人が住み続けるための条件整備	37
・ 15. 農村を支える新たな動きや活力の創出	41
・ 16. 東日本大震災からの復旧・復興	44
・ 17. 大規模自然災害への備え	46

本資料は概要版であり、詳細については下記に記載。

令和2年度実施政策に係る政策評価書 (<https://www.maff.go.jp/j/assess/R2/kekka/02kekka.html>)

令和3年度実施施策に係る事前分析表 (<https://www.maff.go.jp/j/assess/r03/r03jizen/03jizen.html>)

本資料の読み方

〇 を推進する。

当該政策分野において取り組む主な施策の内容を記載

測定指標の判定結果

④ 1 中央卸売市場当たりの取扱金額

(単位：億円)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	695	707	710	713	716	719	719
実績値		605					

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染拡大対策による業務需要の大幅な落ち込み。

R5年度： 評価

評価がA'、Cの場合、
要因分析の概要を記載

⑤ 地域活性化対策において、新たに外部人材を活用した人数

(単位：人)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0		40	60	80	100	100
実績値							

R2年度：- 評価

／ : 測定指標の見直しなどにより、
目標値を設定していないもの
空欄 : 今後、把握予定のもの

※ 令和3年度に測定指標の見直しを行った場合、新旧の測定指標及びその目標値等を上下に並べて掲載。

目標の達成度合いの判定基準

A'	目標値に対する達成度合いが150%を超える
A	目標値に対する達成度合いが90%以上150%以下
B	目標値に対する達成度合いが50%以上90%未満
C	目標値に対する達成度合いが50%未満

※ 平成25年度以降、本基準を基本として達成度合いを判定。

1. 新たな価値の創出による需要の開拓 (1 / 4)

- 農業者の所得向上を図るため、6次産業化の取組等による付加価値の向上や民間活力の導入等を推進する。(②)
- 食品流通の合理化、労働力不足への対応、規格認証の活用等を推進する。(③~⑦)
- 食品ロスの削減、食品産業分野におけるプラスチックごみ問題への対応等を推進する。(⑧、⑨)

等

測定指標の判定結果

① スマートミール等健康な食事・食環境認証事業者数

(単位：事業者)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	83	150	180	210	240	270	300
実績値		137					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

② 6次産業化に取り組んでいる新たな優良事業体数

(単位：事業体)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	15	32	48	64	79	93
実績値		21					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

1. 新たな価値の創出による需要の開拓 (2 / 4)

測定指標の判定結果

③ 飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合

(単位：%)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	11.6	11.4	11.3	11.2	11.1	11.0	11.0
実績値		把握中					

R2年度： 評価

R5年度： 評価

④ 1 中央卸売市場当たりの取扱金額

(単位：億円)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	695	707	710	713	716	719	719
実績値		605					

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染拡大対策による業務需要の大幅な落込み。

R5年度： 評価

⑤ 食品製造業の労働生産性

(単位：千円/人)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	11年度 (目標値)
目標値	5,149	5,401	5,531	5,664	5,801	5,941	6,694
実績値		4,836					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

1. 新たな価値の創出による需要の開拓（3 / 4）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑥ 新たなJASの制定件数

(単位：件)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	0	20					
実績値		16					

R2年度：B 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑦ ISO規格等の国際規格の制定件数

(単位：件)

	3年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	4		4	4	5	5	7
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

1. 新たな価値の創出による需要の開拓（4 / 4）

測定指標の判定結果

⑧ 事業系食品ロス量

(単位：万トン)

	29年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	328	324	320	315	311	307	273
実績値		324					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑨ 飲料用PETボトルの回収率

(単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	91	93	93	94	95	96	100
実績値		96.7					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

2. グローバルマーケットの戦略的な開拓（1 / 2）

- 輸出環境の整備、海外への商流構築・プロモーションの促進、食産業の海外展開の促進に取り組む。（①、②）
- 戦略的な知的財産の活用を推進するとともに、海外における育成者権取得や侵害対応を促進し、我が国の優良な植物新品種が適切に保護される環境整備に取り組む。（③、④）

測定指標の判定結果

① 農林水産物・食品の輸出額

（単位：兆円）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	0.9	2	2	2	2	2	2
実績値		1					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

② 「グローバル・フードバリューチェーン（GFVC）推進官民協議会」のメンバー企業の海外進出数

（単位：社）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 （目標値）
目標値	124	139	154	170	185	200	200
実績値		151					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

2. グローバルマーケットの戦略的な開拓（2 / 2）

測定指標の判定結果

③ 地理的表示産品の国内登録数

（単位：産品）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	11年度 （目標値）
目標値	94	113	130	145	157	167	200
実績値		106					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

④ 輸出重点品目の海外での1品種あたりの平均品種登録国数

（単位：力国）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	9年度 （目標値）
目標値	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	2
実績値		1.4					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

3. 消費者と食・農のつながりの深化（1 / 3）

- 食育を推進するとともに、栄養バランスに優れた「日本型食生活」を、食生活・食習慣の変化に対応しつつ展開する。また、農林漁業体験の取組を推進する。（①～④）
- 学校給食や家庭における和食提供の拡大、和食の継承活動を行う中核的な人材の育成等の取組を推進する。（⑤、⑥）

測定指標の判定結果

① 日本型食生活の実践に取り組む人の割合

（単位：％）

	2年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	69	70	70.2	71.4	72.6	73.8	75
実績値		69					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

② 農林漁業体験を経験した国民の割合

（単位：％）

	2年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	66	40	66.8	67.6	68.4	69.2	70
実績値		66					

R2年度：A' 評価

実績値を把握する調査の調査対象や調査方法が変更。R3に目標値を見直し。

R5年度： 評価

3. 消費者と食・農のつながりの深化（2 / 3）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

③ 学校給食における地場産物を使用する割合

(単位：%)

	27年度 (基準値)	2年度 (※)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	26.9	30					
実績値		—					

R2年度：- 評価

R5年度：- 評価

※2年度は実績を把握する「学校給食栄養報告」（文科省調査）が実施されなかったため、「—」としている。

【令和3年度以降】

④ 学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）を現状値（令和元年度）から維持・向上した都道府県の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	90		90	90	90	90	90
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

3. 消費者と食・農のつながりの深化（3 / 3）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑤ 伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合

(単位：%)

	27年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	41.6	50					
実績値		50.4					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑥ 郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	44.6		46	47	48	49	50
実績値		44.6					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

⑦ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	73.5		74.8	76.1	77.4	78.7	80以上
実績値		73.5					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

※令和3年度に設定

4. 食品の安全確保と消費者の信頼の確保（1 / 3）

- 生産、製造の段階における食品の安全確保等を推進する。（①～③）
- 食品表示の適正化等、食品トレーサビリティの普及啓発を推進する。（④～⑦）

測定指標の判定結果

① 有機物や副産物を原料とする普通肥料の生産量の増加率

（単位：％）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	0	0.2	2	4	6	8	10
実績値		-8.62					

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染症の影響により肥料原料となる食品の副産物発生量が減少。

R5年度： 評価

② 飼料等の適正製造規範（GMP）ガイドラインに基づく管理手法の導入に取り組む飼料製造工場の割合

（単位：％）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	48	57	66	75	84	93	100
実績値		57					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

③ HACCPに沿った衛生管理を実施している食品製造事業者の割合

（単位：％）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	3年度 （目標値）
目標値	20	60	100				100
実績値		60					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

4. 食品の安全確保と消費者の信頼の確保（2 / 3）

測定指標の判定結果

④ 生鮮食品の「原産地」の不適正表示率

(単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1.0	1.0 %以下	1.0 %以下	1.0 %以下	1.0 %以下	1.0 %以下	1.0 %以下
実績値		0.2					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑤ 加工食品の義務表示事項（品質に関するもの）の不適正表示率

(単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1.8	1.6 %以下	1.4 %以下	1.3 %以下	1.2 %以下	1.1 %以下	1.0 %以下
実績値		1.2					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

4. 食品の安全確保と消費者の信頼の確保（3 / 3）

測定指標の判定結果

⑥ 生産者における農畜水産物の出荷記録の保存（基礎トレーサビリティ）の取組率

（単位：％）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	77	78	79	80	81	82	83
実績値		89					

R2年度：A' 評価

実績値を把握する「食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査」の調査対象が変更。

⑦ 流通加工業者における入荷品と出荷品の相互関係を明らかにする記録の保存（内部トレーサビリティ）の取組率

（単位：％）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	41	42	43	44	45	46	47
実績値		45					

R2年度：A' 評価

実績値を把握する「食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査」の調査対象が変更。

6. 担い手の育成・確保等と農業経営の安定化（1 / 3）

- 担い手への重点的な支援の実施、農業経営の法人化の加速化と経営基盤の強化、青色申告を推進する。（①～③）
- 青年層の新規就農と定着促進、女性が能力を発揮できる環境整備等を推進する。（④～⑦）
- 農業経営の安定を図るため、収入保険制度等を着実に推進する。（⑧）

測定指標の判定結果

① 農業経営体のうち認定農業者の割合

（単位：％）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	20.1	21.1	21.7	22.3	22.9	23.5	24.0
実績値		21.7					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

② 農業法人経営体数

（単位：法人）

	25年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 （目標値）
目標値	14,600	39,380	42,920	46,460	50,000		50,000
実績値		30,700					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

③ 農業経営体のうち青色申告者の割合

（単位：％）

	元年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	39.0	42.5	46.0	49.5	53.0	56.5	60.0
実績値		44.0					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

6. 担い手の育成・確保等と農業経営の安定化（2 / 3）

測定指標の判定結果

④ 40代以下の農業従事者数

(単位：万人)

	25年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 (目標値)
目標値	31.1	37.3	38.2	39.1	40.0	/	40.0
実績値		22.7					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

⑤ 認定農業者に占める女性の割合

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	8年度 (目標値)
目標値	4.8	4.9	5.0	5.1	5.2	5.3	5.5
実績値		5.0					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑥ 農業委員に占める女性の割合

(単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	11.8	17.0	19.6	22.2	24.8	27.4	30.0
実績値		12.3					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

6. 担い手の育成・確保等と農業経営の安定化（3 / 3）

測定指標の判定結果

⑦ 農業協同組合の役員に占める女性の割合

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	8年度 (目標値)
目標値	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	15.0
実績値		8.4					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑧ 収入保険の加入経営体数

(単位：経営体)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	4年度 (目標値)
目標値	2.3万	5.5万	7.1万	10万			10万
実績値		5.7万					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

7. 農地集積・集約化と農地の確保

- 人・農地プランの実質化、農地中間管理機構のフル稼働等を推進する。(①)
- 優良農地の確保と有効利用、荒廃農地の発生防止・解消を推進する。(②、③)

測定指標の判定結果

① 担い手が利用する農地面積の割合

(単位：%)

	25年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 (目標値)
目標値	48.7	70.6	73.7	76.9	80.0	/	80.0
実績値		58.0					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

② 荒廃農地の再生利用面積

(単位：千ha/年)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	0	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	48.0
実績値		5.4					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

③ 農用地区域内農地面積

(単位：万ha)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	400.2	399.9	399.6	399.3	399.0	398.7	397.0
実績値		399.6					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備 (1/5)

- 農地の大区画化、産地収益力向上のための高収益作物の導入を推進する。(①～③)
- 農業水利施設機能の安定的発揮に向けて、戦略的な保全管理を推進する。(④、⑤)
- 農業水利施設等の長寿命化、防災・減災対策を推進する。(⑥～⑬)

測定指標の判定結果

① 水田の大区画化の整備面積 (0.5ha以上)

(単位：万ha)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0.0	/	0.7	1.4	2.2	3.0	3.8万ha
実績値							

※令和3年度に設定

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

【令和2年度】

② 基盤整備完了区域 (水田) における作付面積 (主食用米を除く) に占める高収益作物の割合

(単位：%)

	27年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	21	30	/	/	/	/	/
実績値							

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

③ 基盤整備完了地区において、事業実施前後で高収益作物の生産額が2割以上増加している地区の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	/	80	80	80	80	80
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備 (2/5)

測定指標の判定結果

【令和2年度】

④ 施設機能が安定している基幹的農業水利施設の割合

(単位：%)

	27年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	45	50					
実績値		52					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑤ 更新が早期に必要と判明している基幹的農業水利施設における 補修・更新等の対策着手の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0		20	40	60	80	100
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

⑥ ため池等の整備により湛水被害等が防止される農地及び周辺地域の面積

(単位：万ha)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度 (※)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	約34	約4.2	約8.4	約12.6	約16.8	約21
実績値		29.2					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

※令和3年度から令和7年度までを新たな目標設定期間としている。

8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備 (3 / 5)

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑦ 海岸堤防等の個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定率

(単位：%)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1	約100					
実績値		100					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑧ 予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約84		約87	約87	約87	約87	約87
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備 (4 / 5)

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑨ 南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率（計画高までの整備と耐震化）

（単位：％）

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約39	約69					
実績値		65					

【令和3年度以降】

⑩ 南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地震等における海岸堤防等の耐震化率

（単位：％）

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約56		約59	約59	約59	約59	約59
実績値							

⑪ 海岸堤防等の整備率

（単位：％）

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約53		約64	約64	約64	約64	約64
実績値							

8. 農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備 (5 / 5)

測定指標の判定結果

【令和2年度】

- ⑫ 南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における、水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率

(単位：%)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約43	約82					
実績値		85					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

- ⑬ 南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約77		約85	約85	約85	約85	約85
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（1／7）

- 畜産の競争力強化に向けて生産基盤の強化、生産基盤強化を支える環境整備を推進する。（①～⑥）
- 野菜、果樹、花き、茶及び薬用作物等の生産体制の強化に向けた取組を推進する。（⑦～⑫）
- 需要に応じた多様な米の安定供給、麦・大豆の需要に応じた生産、野菜等（高収益作物）への転換、米粉用米・飼料用米の需要に応じた生産、米・麦・大豆等の流通の合理化を推進する。（⑬～⑰）
等

測定指標の判定結果

① 生乳の生産量

（単位：万トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	728	737	741	745	750	754	780
実績値		743					

R2年度：A' 評価

酪農側と乳業側が一体となり施設整備や乳用後継牛の増頭等の基盤強化等を実施。

R5年度： 評価

② 牛肉の生産量

（単位：万トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	33	34	35	35	36	37	40
実績値		34					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（2/7）

測定指標の判定結果

③ 豚肉の生産量

(単位：万トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	90	90	91	91	91	91	92
実績値		92					

R2年度：A' 評価

豚肉消費量の増大や養豚経営の効率化、体質強化等を実施。

R5年度： 評価

④ 鶏肉の生産量

(単位：万トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	160	162	163	164	165	166	170
実績値		166					

R2年度：A' 評価

需要が高く増産意欲が高い中、施設整備や機械導入支援による生産基盤強化等を実施。

R5年度： 評価

⑤ 鶏卵価格の安定化

(単位：%以内)

	16-21年度の変動幅を基に算出 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	毎年度
目標値	±27.5	±25.0	±25.0	±25.0	±25.0	±25.0	±25.0
実績値		±13.7					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（3／7）

測定指標の判定結果

⑥ 飼料作物の生産量

(単位：万TDNトン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	350	378	392	406	420	435	519
実績値		332					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

⑦ 指定野菜（ばれいしょを除く）における加工・業務用野菜の出荷量

(単位：万トン)

	29年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	98	103	107	112	117	122	145
実績値		106					

R2年度：A' 評価

水田を活用した新産地の育成、
農産加工処理施設整備等による
安定供給体制整備の推進。

R5年度： 評価

⑧ 野菜の取引価格の安定化

(単位：%)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	56	63	64	65	66	67	68
実績値		60					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（4／7）

測定指標の判定結果

⑨ 果実の生産量

(単位：万トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	283	287	289	291	293	295	308
実績値		269					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑩ 花きの産出額

(単位：億円)

	29年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	3,687	3,567	3,745	3,829	3,913	3,997	4,500
実績値		3,563					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑪ 茶の輸出額

(単位：億円)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	153	170	195	220	250	280	312
実績値		162					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（5/7）

測定指標の判定結果

⑫ 薬用作物の栽培面積

(単位：ha)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	550	573	584	596	607	618	630
実績値		523					

R2年度：C 評価

契約メーカーによる面積集計作物以外の薬用作物への作付転換、発芽不良等による栽培中止。

R5年度： 評価

⑬ 1人あたり米の消費量

(単位：kg/人/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	53.6	52.5	52.0	51.7	51.3	51.0	50.0
実績値		50.7					

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染症による外出自粛等に伴い、前年度末に前倒し購入が生じたことが影響。

R5年度： 評価

⑭ 小麦の生産量

(単位：トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	764,900	810,167	833,795	858,113	883,139	908,896	1,080,000
実績値		949,300					

R2年度：A' 評価

低単収要因の克服に向けた支援による効果が表れたことに加え、天候に恵まれた。

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（6／7）

測定指標の判定結果

⑮ 大豆の生産量

(単位：トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	211,300	228,733	237,982	247,605	257,617	268,034	340,000
実績値		218,900					

R2年度：C 評価

コスト低減、基盤整備に取り組んだが、天候不順等により本州で生産が伸び悩み。

R5年度： 評価

⑯ 飼料用米・米粉用米の生産量

(単位：トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	454,216 飼料用米 426,521 米粉用米 27,695	509,683 飼料用米 472,101 米粉用米 37,582	537,188 飼料用米 494,891 米粉用米 42,297	565,389 飼料用米 517,681 米粉用米 47,708	594,386 飼料用米 540,471 米粉用米 53,915	624,298 飼料用米 563,261 米粉用米 61,037	830,000 飼料用米 700,000 米粉用米 130,000
実績値		413,893 飼料用米 380,502 米粉用米 33,391					

R2年度：C 評価

飼料用トウモロコシの価格低迷を背景とした飼料用米から備蓄用米等への転換、東海以西でのトビイロウンカの被害、日照不足等。

R5年度： 評価

⑰ 国際水準GAPを実施する農業者数

(単位：経営体)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	0	22,000	44,000	66,000	88,000	110,000	240,000
実績値		17,388					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（7/7）

測定指標の判定結果

⑱ 農作業事故による死亡者数

(単位：人)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 (目標値)
目標値	304	287	253	219	185	/	185
実績値		281					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑲ 担い手の米の生産コストにおける生産資材費（農機具費、肥料費、農業薬剤費）と労働費

(単位：円/60kg)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	個別経営 6,497	個別経営 5,881	個別経営 5,778	個別経営 5,675	個別経営 5,573	個別経営 5,470	個別経営 5,470
		組織法人経営 5,878	組織法人経営 5,776	組織法人経営 5,674	組織法人経営 5,572	組織法人経営 5,470	組織法人経営 5,470
実績値	組織法人経営 6,491	個別経営 6,367					
		組織法人経営 6,693					

R2年度：C 評価

為替変動により原料調達コストが上昇し、生産資材価格全体が上昇基調に転じた。

R5年度： 評価

12. 環境政策の推進（1 / 3）

- 農林水産分野の温室効果ガスの排出削減対策や農地による吸収源対策等を推進する。
（①、②）
- 生物多様性保全に効果の高い取組を推進するとともに、有機農業の取組面積拡大を図る。
（③、④）

等

測定指標の判定結果

① 「地球温暖化対策計画」（平成28年5月13日閣議決定）における農地土壌炭素吸収源対策による土壌炭素貯留量（吸収量）

（単位：万トン-CO2）

	25年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	145	設定中	設定中	設定中	設定中	設定中	設定中
実績値		330					

R2年度： - 評価

R5年度： 評価

② 農林水産分野の温室効果ガスの排出量

（単位：万トン-CO2）

	25年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	5,149	5,014	4,929	4,921	4,913	4,905	4,845
実績値		把握中					

R2年度： 評価

R5年度： 評価

③ 有機農業の取組面積

（単位：千ha）

	29年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	23.5	29	31	33	35	38	63
実績値		把握中					

R2年度： 評価

R5年度： 評価

12. 環境政策の推進（2 / 3）

測定指標の判定結果

④ 単位面積（1 ha）当たりの堆肥の施用量

（単位：トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	0.60	0.64	0.67	0.71	0.75	0.79	1.05
実績値		0.56					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

⑤ 施設園芸におけるプラスチック排出量に対する再生処理量

（単位：％）

	28年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	72.5	74	75	76	77	78	80
実績値		74.5					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑥ 生分解性マルチの年間利用量

（単位：トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 （目標値）
目標値	3,400	3,400	3,600	3,900	4,200	4,600	4,600
実績値		3,606					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

12. 環境政策の推進（3 / 3）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑦ 環境に配慮した商品やサービスを選択することを心掛けている消費者の割合

(単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	59.3	65	71	77	84	92	100
実績値		—					

※2年度は実績を把握する「消費者意識基本調査」（消費者庁）の内容が変更され実績値の把握が不可能となったため、「—」としている。

R2年度：- 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑧ 環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶことを意識している消費者の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	32.2		34	38	42	46	50
実績値		32.2					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保（1 / 4）

- 地域資源の高付加価値化、農泊、農福連携、農村への農業関連産業の導入等を推進する。（②～⑥）
- バイオマス・再生可能エネルギーの導入・地域内活用、農畜産物や加工品の地域内消費、農村におけるSDGsの達成にむけた取組を推進する。（⑦～⑩）
- 都市の農地の有効な活用や適正な保全を図り、農と住の調和するまちづくりを推進する。（⑪）

等

測定指標の判定結果

① 中山間地域の特色を活かした営農と所得の確保に取り組む地区のうち、新たに事業目標を達成した地区数

(単位：地区)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	60	100	140	280	320	350
実績値		84					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

② 地域資源を活用し、所得と雇用機会を創出する取組を実施する地域のうち、新たに事業目標を達成した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	5	10	15	20	25	30
実績値		3					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保（2 / 4）

測定指標の判定結果

③ グリーン・ツーリズム施設年間延べ宿泊者数及び訪日外国人旅行者数のうち 農山漁村体験等を行った人数

(単位：万人/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1,212	1,290	1,340	1,390	1,440	1,490	1,540
実績値		519					

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染症
拡大の影響により、国内外
の旅行者が大幅に減少。

R5年度： 評価

④ ジビエ利用量

(単位：トン/年)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	2,008	2,340	2,672	3,004	3,336	3,668	4,000
実績値		1,810					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

⑤ 農福連携に新たに取り組む主体数

(単位：件)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0	500	1,050	1,650	2,320	3,000	3,000
実績値		454					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保（3 / 4）

測定指標の判定結果

⑥ 農村産業法を活用した産業の立地・導入に向け、新たに市町村との調整を了した企業数

(単位：社)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	10	20	30	40	50	60
実績値		6					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

【令和2年度】

⑦ 農業水利施設を活用した小水力等発電電力量のかんがい排水に用いる電力量に占める割合

(単位：%)

	27年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約20	30					
実績値		31.7					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑧ 土地改良施設の使用電力量に対する農業水利施設を活用した小水力等再生可能エネルギーによる発電電力量の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	約30		32	34	36	38	40
実績値		約30					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保（4 / 4）

測定指標の判定結果

⑨ 再生可能エネルギーを活用して地域の農林漁業の発展を図る取組を行う地区の再生可能エネルギー電気・熱にかかる経済規模

(単位：億円)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年度 (目標値)
目標値	296.6	420	480	540	600	/	600
実績値		448.3					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑩ 年間販売額 1 億円以上の通年営業の直売所数

(単位：件)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	3,000	6,000	3,900	4,350	4,800	5,250	5,700
実績値		把握中					

R2年度： 評価

R5年度： 評価

※令和3年度に目標値の見直しを実施。

⑪ 都市農地の貸借の円滑化に関する法律に基づき貸借された農地面積

(単位：ha)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	30	75	120	165	210	255	255
実績値		51					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

14. 農村に人が住み続けるための条件整備（1 / 4）

- 多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度及び環境保全型農業直接支払制度の3制度の連携強化を図りつつ、集落内外の組織や非農家の住民と協力しながら、活動組織の広域化等や人材確保、省力化技術の導入を推進する。（③～⑧）
- 鳥獣被害対策実施隊の体制の強化等を推進する。（⑩） 等

測定指標の判定結果

① 農業生産活動等の体制整備に取り組む集落協定のうち、新たに集落戦略を策定した協定の割合 （単位：％）

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0	/		60	80	100	100
実績値		/					

R2年度：- 評価
R5年度： 評価

② 地域活性化対策において、新たに地域の将来を構想する計画等を策定した地区数 （単位：地区）

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	15	30	45	60	75	90
実績値		16					

R2年度：A 評価
R5年度： 評価

14. 農村に人が住み続けるための条件整備（2 / 4）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

③ 多面的機能支払交付金における持続的な地域共同活動のための
農業者以外の多様な人材の参画率

(単位：%)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	27.4	40					
実績値		35.7					

R2年度：B 評価
R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

④ 多面的機能支払交付金における、地域による農地・農業用水等の保全管理
への農業者以外の多様な人材の参画率

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	35.0		40.0	42.5	45.0	47.5	50.0
実績値							

R2年度：- 評価
R5年度： 評価

14. 農村に人が住み続けるための条件整備（3 / 4）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

⑤ 多面的機能支払交付金における持続的な広域体制の下での地域共同活動により
 保安全管理される農地面積の割合

(単位：%)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	35.0	50					
実績値		46.3					

R2年度：A 評価
 R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑥ 多面的機能支払交付金において、地域による農地・農業用水等の保安全管理が実施
 される農用地のうち、持続的な広域体制の下で保安全管理される農地面積の割合

(単位：%)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	44.7		50.0	52.5	55.0	57.5	60.0
実績値							

R2年度：- 評価
 R5年度： 評価

⑦ 中山間地域等直接支払交付金の第5期対策期間（R2～R6）において減少が
 防止される中山間地域等の農用地の面積

(単位：万ha/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
実績値		7.2					

R2年度：A 評価
 R5年度： 評価

14. 農村に人が住み続けるための条件整備（4 / 4）

測定指標の判定結果

⑧ 環境保全型農業直接支払交付金の取組を通じた温室効果ガス削減量

(単位：万tCO2/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	14	14	14	14	14	14	14
実績値		16					

R2年度：A 評価
R5年度： 評価

⑨ 地域活性化対策において、新たに農山漁村で暮らす人々が引き続き住み続けるための取組の目標を達成した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	10	20	30	40	50	60
実績値		13					

R2年度：A 評価
R5年度： 評価

⑩ 鳥獣被害対策実施隊の隊員数

(単位：人)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	37,279	39,100	40,000	41,000	41,900	42,900	43,800
実績値		39,924					

R2年度：A 評価
R5年度： 評価

15. 農村を支える新たな動きや活力の創出（1 / 3）

○ 地域運営組織の形成等を通じた地域を持続的に支える体制づくり、関係人口の創出・拡大や関係の深化を通じた地域の支えとなる人材の裾野の拡大、多様な人材の活躍による地域課題の解決等を推進する。（①～⑤）

測定指標の判定結果

① 農業生産活動等の体制整備に取り組む集落協定のうち、新たに集落戦略を策定した協定の割合（分野14-①再掲）

（単位：％）

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0			60	80	100	100
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

【令和2年度】

② 地域活性化対策において、新たに農山漁村の関係人口の拡大に資する取組を実施した地域数

（単位：地域）

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	10	20	30	40	50	60
実績値		61					

R2年度：A' 評価

都市住民の地方移住の関心が高まる中、オンライン形式で農林水産業の体験研修を実施。

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

③ グリーン・ツーリズム施設年間延べ宿泊者数及び訪日外国人旅行者数のうち農山漁村体験等を行った人数（分野13-③再掲）

（単位：万人/年）

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1,212		1,340	1,390	1,440	1,490	1,540
実績値			519				

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

15. 農村を支える新たな動きや活力の創出（2 / 3）

測定指標の判定結果

【令和2年度】

④ 地域活性化対策における地域課題の解決に取り組む地域のうち、新たに外部人材を活用した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	5	10	15	20	25	30
実績値		10					

R2年度：A' 評価

都市住民が農山漁村に移住するための取組の支援が求められる中、専門的スキルを有する人材活用支援を実施

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑤ 地域活性化対策において、新たに外部人材を活用した人数

(単位：人)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0		40	60	80	100	100
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

⑥ 指定棚田地域振興計画を策定した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0	60	350	400	450	500	500
実績値		82					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

※令和3年度に目標値の見直しを実施。

15. 農村を支える新たな動きや活力の創出（3 / 3）

測定指標の判定結果

⑦ 新たに景観農業振興地域整備計画又は歴史的風致維持向上計画（農村景観等農村の風致を計画の中に位置付けたものに限る。）を策定した市町村数

（単位：市町村）

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	47	54	59	64	69	74	75
実績値		54					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

⑧ 農業農村の多面的機能に関する認知度

（単位：％）

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	48.9	50	52	54	56	58	60
実績値		—					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

16. 東日本大震災からの復旧・復興（1 / 2）

- 農地等の整備の完了を目指し、復旧・復興を着実に進める。（①）
- 食品の安全を確保する取組や、農業者の営農再開の支援、国内外の風評払拭に向けた取組等を推進する。（②～⑥）

測定指標の判定結果

① 津波被災地域における営農再開が可能となる農地面積 (単位：ha)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	18,390	18,680	18,650	18,870	18,920	19,020	19,020
実績値		18,560					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

【令和2年度】

② 検査により放射性物質濃度が基準値を超過した農畜産物の割合 (単位：%)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	0.0001 %以下	0.0001 %以下	0.0001 %以下	0.0001 %以下	0.0001 %以下	0.0001 %以下
実績値		0					

R2年度：A 評価

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

③ 検査により放射性物質濃度が基準値を超過した農畜産物の点数 (単位：点数)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0		0	0	0	0	0
実績値		0					

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

16. 東日本大震災からの復旧・復興（2 / 2）

測定指標の判定結果

④ 原子力被災12市町村の営農再開面積

(単位：ha)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	6,577		7,314	8,052	8,789	9,527	10,264
実績値		6,577					

※令和3年度に設定

R2年度：- 評価
R5年度： 評価

【令和2年度】

⑤ 大都市圏への福島県産の主要青果物の供給量

(単位：トン)

	23年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	2年度 (目標値)
目標値	38,721	45,000					45,000
実績値		28,648					28,648

R2年度：B 評価
R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

⑥ 福島県産農産物（米、もも、牛肉）の価格水準

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	93.3		94.7	96.0	97.4	98.7	100
実績値		93.2					

R2年度：- 評価
R5年度： 評価

17. 大規模自然災害への備え（1 / 2）

○ 農業保険等の普及促進・利用拡大、農業水利施設等の耐震化等の推進、食品産業事業者におけるBCPの策定の促進、政府備蓄米の備蓄水準の確保を着実に進める。（①～④）

測定指標の判定結果

① 農業保険の加入率（園芸施設共済）

（単位：％）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	3年度
目標値	55.0	70.0	80.0				80.0
実績値		65.6					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価

② ため池等の整備により湛水被害等が防止される農地及び周辺地域の面積（分野8-⑥再掲）

（単位：万ha）

	2年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	0	約34	約4.2	約8.4	約12.6	約16.8	約21
実績値		29.2					

R2年度：B 評価

R5年度： 評価

※令和3年度から令和7年度までを新たな目標設定期間としている。

17. 大規模自然災害への備え（2 / 2）

測定指標の判定結果

③ 食品産業事業者における事業継続計画（BCP）の策定率

（単位：％）

	2年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 （目標値）
目標値	27	27	32	36	41	45	45
実績値							

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

※令和3年度に設定

④ 政府備蓄米の備蓄水準

（単位：万トン程度）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 （目標値）
目標値	91	100	100	100	100	100	100
実績値		91					

R2年度：A 評価

R5年度： 評価